

梅窓院通信

No. 119

2022/06/01

青山



はつぎ
ご先祖様が迷わぬよう鬼灯を持って

住職挨拶

令和四年も早いもので半年が過ぎようとしています。新型コロナウイルスの感染が始まってからはや二年半が過ぎようとしていますが、皆様お変わりなく過ごされていることを祈念するばかりです。

梅窓院でも感染防止のため、ベット慰霊法要、春彼岸会はライブ配信とさせて頂きました。世間でもオンラインでの会議が定着したり、通勤の見直し、週休三日の導入検討など、大きな変化が起きているようです。

人間の五感の中では匂いが一番記憶に残ると聞いたことがあります。お寺はお墓参りでも法要でも、お線香やお焼香という匂いや香りが漂っています。そういう意味では皆様にとって、コロナで足が遠のいたもののお寺は懐かしく、また落ち着かれる場所ではないでしょうか。以前のようにお焼香の匂いや煙の中で皆様とご一緒に法要や各種行事を執り行いたいものです。

さて、昨年末に護寺費と年会費の改定をさせて頂きましたが、多くの皆様にご理解を頂き、ご入金を頂いておりますこと、大変ありがたく存じます。このご時勢での改定となりましたこと、申し訳なく思っております。なお、護寺費につきましては新たなご提案をさせて頂きたく存じますので、八面をご覧下さい。

一部施設の使用不可期間についてのお知らせ

施設メンテナンスに伴い、左記期間中、該当する施設はご利用頂けません。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご了承頂きますようお願い申し上げます。

- ・五階客殿 五月下旬頃まで(予定)
- ・二階客殿 七月一日(金)～八月九日(火)(予定)



梅窓院第二十五世

中島 真成

仏教歳時風物詩(58)

真夏日・猛暑日とお盆

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

歳

時記の季の区分は旧暦・陰暦で行なわれているから、陰暦七月のお盆行事は初秋の季題として今も扱われている。お施餓鬼行事をはじめとするお盆にまつわる事柄は、それが月遅れであれ、七日遅れ、十日遅れであれ、すべて初秋の季語に配当されているわけである。

したがって現在の実際的时候・気象具合から見れば、季節感に大きなズレを感じるのは当然である。只今のお盆行事は、七月行事であれば時に梅雨明け前であり、すでに暑さも強く、八月行事であれば盛夏の暑さの真っ盛りである。加えて地球温暖化のこともあり、真夏日・猛暑日の連続する中に、日本列島の現代のお盆があるというわけである。

歳時記を見ると、暑さ・暑し・暑苦し、暑・暑気・暑熱などの季語を夏全般に通ずる三夏とし、盛夏・真夏・極暑・酷暑・猛暑・劫暑、溽暑・湿暑・蒸暑し、炎暑・炎熱などは晩夏として季分けしている。伝統的な歳時記には「真夏日」「夏日」などの語は記されていないが、近時ではすでに立派な季語として通じているようである。

この夏の暑さ、きびしい暑さ、はげしい暑さをどのように乗り切るか。炎熱・暑熱の一日一日をいかにして暮らし過ぎし、暑さ・熱さを身心にしつか

りと消化して行くためには、いかようにあるべきか。このような思いに即して、夏の盛りの句例の中から心に留めておきたい数句を採り上げたい。

世にも暑にも寡黙をもつて抗しけり (敦)

暑き故ものをきちんと並べをる (綾子)

久保田万太郎門下で昭和の俳壇に重きをなした安住敦の句は、暑さにじつと黙して耐える居住まいの中に強く深い反骨の気概が蔵されている。沢木欣一夫人でもある細見綾子は、安住と同年の明治四十年生まれの女流の大家。酷暑の一日の中に、一つひとつの小さな整理整頓が思いがけないほどの涼味を添えるのである。

炎暑の田しづかに暑さあつめをり (貞)

過去などは皆海が呑みあひ砂丘(礼子)

及川貞、遊田礼子両女流の句であるが、共にゆったりとどっしりと落ち着いた風情がある。暑さを前にして、そこはかとなきゆとりが感じられるのである。

水晶の念珠つめたき大暑かな (草城)
仏眼と眼が合つ溽暑暗くして (優)

水晶の数珠の手触り・肌触りの冷

たさ、仏の慈眼に蒸し暑さも潜み沈む思い、日野草城、岸田優の両句をいわゆる仏教句と受けとめて、慈悲の涼気として昇華したい。

そして最後にお盆句を挙げたい。もとより季の区分としては初秋である。

ゆく路に夕かげの浮く盆会かな(蛇笏)

暮洗ふ虚空を洗ふごとくなり (平谷)

飯田蛇笏と上甲平谷の二句である。夏の暑さを時に静かに凝視してしつかりと見きわめ、なんとしても猛暑を乗り越え、言ってみればひとつ悟り切るためのお盆句である。

お盆を迎えて過ぎすということは、実は夏を迎えて過ぎすということである。お盆行事が先祖代々の精霊、つまり

りは今ほ亡き尊きいのちへの追善敬慕の心を深め、菩提供養の心を篤くいたすことであるならば、ひと夏を過ぎす

ことを、私はお盆供養の心情の中に一切を集約して自分自身の居住まい、振る舞いを定めてみたい。はるかなるうるわしいのちを敬慕い、かけがえのないかぎりないのちに向き合つて

思い寄り添いながら、真夏日・猛暑日を、ひたすらに心をいたし、ひたむきに心を尽くしてともどもに生き生かさ

れ合いたい。
(大正大学名誉教授)

三月・四月の

行事報告



ペット慰霊法要にて愛しいペットにご挨拶



春彼岸法要の様子

令和四年
春彼岸法要
3月21日(月・祝)

はなまつり
4月2日(土)~8日(金)



花まつりで飾られる花御堂



ご先祖様に感謝の気持ちを伝える

お盆 7月13日(水)

盂蘭盆会法要 午前10時30分～ 2階本堂

令和4年盂蘭盆会法要はお席をご用意し、
ご着席頂ける予定でございます。宜しければ本堂へお参り下さい。

※法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

東京都に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出された場合

法要の様子をライブ配信予定です。

お席のご用意はございませんが、法要中はお焼香頂けますので、宜しければ本堂へお参り下さい。

お塔婆につきましては、法要後に僧侶にて建てさせていただきます。

最新情報は梅窓院ホームページをご覧ください。 <https://www.baisouin.or.jp/>



梅窓院ホームページの
QRコード

お たな ぎょう 御棚経

7月13日(水)～15日(金)

お盆とは

忙しい日々、忘れがちなお先祖を思い出し御供養するのがお盆です。そして、つなげて頂いた命に感謝しましょう。ご先祖を家にお迎え一緒に過ごしますが、できればご家族ご親戚と一緒に迎えたものです。

精霊棚の飾り方については同封のご案内チラシをご覧ください。

御棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。
また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

盂蘭盆会 塔婆・回向のお申し込み方法とお知らせ

◆盂蘭盆会 塔婆・回向お申し込み方法

塔婆回向 1 本 10,000円

御回向料 1 霊 5,000円

お申し込み方法

同封はがきにご記入の上、7月1日(金)必着でお申込下さい。
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

お支払いの方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払いはできません。
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

お盆に寄せて

段々と暑くなつて参りました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、先日青年会(若手浄土宗僧侶の集まり)で勉強したのですが、「経営」という言葉は中国の儒教の典籍である『詩経』の中に起源があるそうです。これを経しこれを営すと読むのだそうです。「経」はお経の経で、元々経糸という意味ですが、まっすぐと道筋をたてること。営は旧字では營とかき、火(灯明)で土地を開く意味から陣営などと使います。経は縦方向、営は平面的なことをそれぞれ計画する意味があり、合わさって建物を建築する際の用語だそうです。それが転じて、事業を計画して継続的に進めていくことをいうようになったとのことです。

考えてみますと、お寺の経営とは、境内地と本堂や庫裡(僧侶や寺族などが居住する)などの建物を護持し、仏教のみ教えを説き広めていくことに他ならないと思うのです。法然上人のご法語には、「お念仏を修めるところはみな私の遺跡(法然上人のご遺徳を偲ぶ場所)とすべきです」とあります。浄土宗の各ご寺院にとってみれば、その全てが、歴代住職が守ってきたお念仏の場所であり、布教の場所であると共に、宗祖法然上人の遺跡地でもあるのです。大切に守って、未来へお念仏のみ教えを繋いでいく場所なのです。

巨大な船、梅窓号は次の世代へ向け大航海のさなかです。航路は難所だらけであり、海は大荒れです。キャプテンたるは梅窓院住職であります。この度の護寺費改定のお願いはキャプテンからのお願いです。どうか、梅窓号が沈没せずに大航海を終えて、次世代の岸へたどり着けますように。私からもご理解、ご協力をお願い申し上げます。

(副住職 中島真紹)

合掌

大崎紀夫先生 **直伝**

「口語俳句のすすめ」

みなさんは口語俳句をご存知でしょうか。日常の話し言葉で詠む俳句のことで、わかりやすく親近感のある俳句です。今号では、本誌の「青山俳壇」選者の大崎紀夫先生に口語俳句の魅力や作り方のコツを教えてください。また、梅窓院広報部マスコットキャラクターのうめ子の詠んだ句を大崎先生に添削してもらいました。

毎年よ彼岸の入に寒いのは

正岡子規

約束の寒の土筆を煮てください

川端茅舎

子規の句は、お母さんの言葉をそのまま俳句にしたもので、茅舎の句は、病床にいる作者が近親者に向けた言葉をそのまま句にしたもの。明治・大正時代の有名な口語俳句、つまり話し言葉による有名な俳句です。

いまでも俳句の多くは文語で詠まれていますが、時代とともに口語俳句が少しずつ多くなってきました。文語になじまない世代の人たちが増えてきているせいでしょう。

昭和の時代にも有名な口語俳句があります。

夏草に汽缶車の車輪来て止る

山口誓子

水枕ガバリと寒い海がある

西東三鬼

子供たちが作る俳句は、ほとんど全てが口語俳句で、わたしの記憶に残っているのは、

天国はもう秋ですかお父さん

平成・令和の時代になると、口語俳句は珍しいものではなく、歴史に残るような名句が生まれます。

おおかみに螢がひとつ付いていた

金子兜太

じゃんけんて負けて螢に生まれたの

池田澄子

現在、口語俳句の俳人として有名なのは、池田澄子さん、坪内稔典さん、神野紗希さんたちで、池田さんはことさら口語を意識して使っているわけではないといっていますが、坪内さん、神野さんは積極的に使っているようです。

ピーマン切つて中を明るくしてあげたら
ちよつと古いけど風邪薬ですどうぞ

池田澄子

たんぼのぼのぼのあたりが火事ですよ
横顔が好き柿だつて君だつて

坪内稔典

トンネル長いね草餅を半分こ
いま？渋谷の交差点。雪が降つてる

神野紗希

どの句も分かりやすく面白いですね。わたしと一緒にやっている人たちも口語俳句を多く詠むようになってきています。

一枚の十一月のパンを焼く

青山丈

蜜柑むく言われてみればおばあさん

好井由江

二つまで採らせてください露の螢

西池冬扇

晴れた空そこらで亀が鳴いてゐる

大崎紀夫

ということ、文語が苦手だとか得意じゃないとかいう人は、自分の使い易い言葉で詠めばいい、ということになります。そのとき大事なことは俳句としての十七音をしっかりと守ることだ、とわたしは考えています。

日常の暮らし中でふつと気になった言葉、あれつと思つた風景などを十七音に詠んでみると、結構面白い句ができるはずですよ。

俳句は極楽の文学だ、といったのは高浜虚子ですが、俳句作りは極楽に遊ぶことだと思つてもいいでしょう。

(大崎紀夫)



おおさきのりお 大崎紀夫

昭和15年埼玉県戸田市に生まれ、東京大学仏文科卒。平成7年「俳句朝日」創刊編集長、「短歌朝日」創刊編集長。「WEP俳句通信」創刊編集長。平成13年「結社誌」や「びり率」創刊主宰。同人誌「棒」同人。日本俳人クラブ評議員。句集に『俵ぐみ』(14年)『釣糸』(19年)など11冊。詩集に『単純な歌』『ひとつの続き』。旅の本に『湯湯』『歩いてしか行けない秘湯』。釣り本は『全国雑魚釣り温泉の旅』をはじめ多数刊行。他に『農村歌舞伎』『nの方舟—大人の童話』など。

大崎先生の書籍紹介

「全国雑魚釣り温泉の旅」



発行：昭和54年8月10日
発行所：株潮出版社
釣り雑誌で数々の連載を手掛けてきた大崎紀夫先生の初の単行本で、全国の温泉と釣りの楽しさを綴っています。またカリスマの人気漫画家のつげ義春氏に装画を手掛けてもらったことで大いに話題を呼んだ思い出の一冊とのことです。

「nの方舟—大人の童話」



発行：平成29年2月15日
発行所：株ウエップ
大崎紀夫先生が日々の生活の中で、ふつと思ひ浮かんだイメージを膨らませて生まれた13の短編物語で、舞台はイタリヤ12編、日本1編となっています。女性に読んで欲しい大人の童話にしたとすることで、先生から皆様にお薦めの一冊。

「句集 麦藁帽」



発行：令和3年7月30日
発行所：株ウエップ
釣りの月刊誌での連載にあたり、着ふるしのシャツ・セーターそれに長靴と麦藁帽のスタイルで釣行して以来、麦藁帽の釣り師といわれるように。数多くの句集(全11集)を出す中で、あえてこの名前を冠した渾身の句集になっています。

口語俳句添削

先生、頑張って三句詠みました。



- ① 春彼岸祖母の優しき思い出す
- ② さくら味見た目キヌート味微妙
- ③ 海の青空の青さが交じり合う

それはすごいね。では、一句ずつ見てみよう。

①は素直でいい句だね。ただ、春の彼岸は俳句では「彼岸」でいいことになっているので、ここは「春の彼岸」か「お彼岸に」とした方がいいかもしれない。「春の彼岸」の「春の」は余計だという人がいるかもしれないけど、春の季語「蝶」を「春の蝶」とした名句があるから、これでいいと思う。口語俳句の名句は、気持ちを素直に詠んだものが多いね。



②の「さくら味」というと、「さくらのような味」ということで言葉の中心は「味」。これだと季語にならないし、「さくらのような」という比喩も季語にならないね。これは後で添削しましょう。

③は気分のいい句だけど、季語が入ってないので、「無季句」ということになる。もし有季定型——つまり5・7・5あるいは17音を守って、そこに季語を入れていく——という線で行くのだったら、ここは季語を入れたい。そして「海と空が交じり合う」という句はこれまで結構あって、こういう似たりよったりの句を「類想句」というのだけど、初めのうちは類想を恐れず、どんどん詠むといいというのがわたしの意見。

先生、ありがとうございます。



では、②の句だけど、さくら味はどんな食べ物なの？

カフェにあった季節限定のさくらの香りがする飲み物です。



そうか、「さくら味」は飲み物か、それは季語にならないね。口語俳句でも季語は入れた方がいいね。そして五七五はできるだけ守る。もし字余りにするなら、最初の五音、これを上五というけれど、この字余りはいいよ。私は、俳句は調べの文芸だと思っているから、リズムの良さを大切にしたいんだ。だから、五七五の中七と下五は守ってね。

はい、余らせて良いのは最初の五音だけです。わかりました。



さて、さくら味だと季語がないから、うぐいす餅という季語を使って、その味を詠み、左のようにしたけれど、どうだろう。

すごいですね!!先生、季語はどうすればわかるのですか？



初めはハンディ版の歳時記がいいかな。元禄時代は120ほどだった季語が、今は約2万もあるんだ。ピールやアイスクリーム、それに焼酎も今は季語になっている。だけど、自然の季節の移り変わりを言葉で楽しむのは日本だけ、だから季節のある季語を使いたいね。

すごい季語の数ですね。今度「青山俳壇」に投句してみます。



待ってるよ!



みんなも俳句を始めてみよう!
梅窓院通信『青山』なら大崎先生に添削してもらえます!

※選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。

投句の応募方法につきましては、7面「青山俳壇」をご覧ください。

② うぐいす餅は見た目がキヌートうす甘で

前号に続く郡上八幡シリーズ。今号は毎年開催される「郡上おどりin青山法要」で本尊前で郡上おどりを奉納頂いている 様にお話を伺いました。

◆こんにちは、本日はよろしくお願ひ致します。最初に郡上おどり保存会の会員数について教えて下さい。

会長(以下)現在、53人いまして、お囃子が25人、踊りが28人ですね。

◆さんはお囃子をやられているのですか？

はい、私は太鼓です。もちろん三味線も踊りもやりましたが、今は後輩の指導もあり、太鼓を務めています。

◆そうですか、お若い方もいらっしゃるのですか。

はい、20代が2人いて、男性が太鼓、女性が三味線です。残念ながら踊り手には若い人がいません。

◆そうですか、徹夜おどりに集まる方は若い方が多いようですが。

そうですね。徹夜ですから、若くないとね(笑)。

今は6月の京都・御池御幸と東京・青山でも踊っていますが、どちらも若い人が多いですね。

◆郡上おどりの人気の秘密は何でしょうか。

郡上おどりは全部で10曲ですが、簡単に踊れて輪に入りやすく、手や足が自然についてきます。そして曲によって緩急があり、長時間踊れるのも特徴ですね。



お囃子の屋台の前での記念写真。



郡上八幡旧庁舎記念館の2Fにある、かわさきホールではおどり体験教室等も開催されます。

◆曲のテンポも良いですよ。

若い人に人気なのは「春駒」です。太鼓を少しずつ早く叩き出しアップテンポにすると、別名「郡上マンボ」と呼ばれる今風の踊りになります。

◆今は学校の授業にダンスが取り入れられる時代ですからね。

実はこの「春駒」、昔の呼び名は「焼きサバ」だったのです。山間にある郡上に富山から焼きサバを売りにくる物売りが、「1銭5厘の焼きサバ 焼きサバ」と掛け声を掛けていた。これが踊りになったのです。

◆「焼きサバ」だったのですか。

昭和22年にコロムビア・レコードで録音する時に、「郡上でサバは」ということになり「春駒」になりました。駒は馬のことですが、宇治川の先陣争いで梶原源太景季の乗った名馬、磨墨は郡上の明宝町の産ですので、それを意識した曲名にしたのです。

◆なるほど。焼きサバより響きがいぶ良いかと思えます(笑)。

確かに。「郡上おどりin青山」はもう28回目になりますが、東京・町田に春駒会が作られ、今年も郡上に来てくれました。

◆そうですか。熱心なファンがいますね。

昨年はコロナ禍で郡上おどりは大幅に縮小し、ここ郡上八幡旧庁舎記念館の2階からライブ配信しましたが、思った以上に多くの方が見てくれました。画面の向こうで踊っていた方もいたのではないのでしょうか。

◆そうですね、全国に広がったかもしれませんね。本日はありがとうございました。

郡上おどり10曲は郡上八幡のHPに掲載されています。右記QRコードからご覧下さい。
http://www.gujohachiman.com/kanko/odori.html



赤坂柿山 赤坂総本店

今回は千代田線「赤坂駅」より徒歩3分の「赤坂柿山」赤坂総本店にて、代表取締役の川合寛安さんにお店の魅力を余すことなく伺いました。

「赤坂柿山」は富山県に原点を持つ1971年創業の歴史ある米菓専門店です。赤坂総本店は赤坂の繁華街の一角に構える、街とは対照的に静かである直営店です。店内には高級感ある贈答用おかしから季節限定のものまで幅広く取り揃えています。

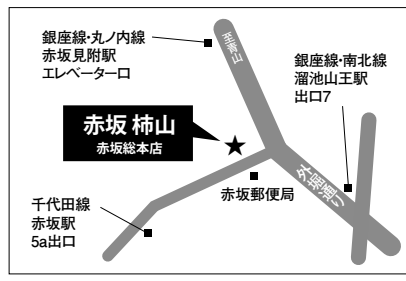


「赤坂柿山」赤坂総本店

今こそ贈答用など様々なシーンで利用されるおかしですが、以前は質素な駄菓子でした。その常識を覆したのは川合さんのお父様である初代社長です。積み上げてきた歴史だけに囚われず、常に時代のニーズに合ったものを提供するという信念は、現在でも「赤坂柿山」の大切な指針になっているのだとか。

また、原材料と製造にも並々ならぬこだわりを持つおかしを作っているとのこと。まず、もち米は深い味わいとコシのある食感を実現してくれる富山県特産の新大正もち米を使用しています。製造工程では全作業を機械化している量産型のものとは違い、専門の職人が確かな技でおかきの味や食感を守っています。

このような時代に即した米菓作りに妥協をしないプロフェッショナルな姿勢こそ、長年多くの人々に愛されている秘訣かもしれません。



営業時間/月曜～土曜 9:30～18:00
 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、店舗の営業時間が変更となる場合がございます。最新情報は店舗まで直接お問い合わせ下さい。

定休日/日曜・祝祭日
 住所/東京都港区赤坂3-6-10
 TEL/03-3585-9927



一番人気のロングセラー商品、柿山セレクト(¥1,620～)

7種のあられが楽しめる「ななこ」。今年の元日に梅窓院でもお配りしました。



飲食店を経営されている皆様へ

「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。詳しくは梅窓院広報部までお気軽にお問い合わせ下さい。

青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長 大崎 紀夫

◎特選

○天を指す右手濡れづめ甘茶仏

◎入選

- 薄氷やかすかに動くカメの底
- 花吹雪浴びる気のすむまで独り
- 鏡見る前歯にひとつ海苔かけら
- 画面には鳥の業火鶴帰る
- 接種終えて見渡す埠頭春浅し
- 花御堂甘茶風呂ですくつろいで
- 春嵐バケツ転がる洗車場
- 猫柳弁財天へ架かる橋
- 棒立てて踏まれぬやうに初すみれ

◎選者詠

○川漁の舟もどりくる花ぐもり

大崎 紀夫

＜フンポイントレズン＞

俳句を詠むことのよさのひとつは、自然とのつき合いが濃く深くなることです。俳句は四季の移ろいとそれに伴う人事を詠む詩と高浜虚子はいいますが、そこでお勧めなのが吟行です。ひとりでも仲間とでもいいのです。どこか自然と触れ合えるところへ行ってひと歩きして、そして自然と触れ合えて感じたことを詠んでいくことで、新鮮な世界が展げてくるはずですよ。

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月1日(金)締切り、9月発送の『秋彼岸号』にて発表致します。郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。
 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
 梅窓院「青山俳壇」投句募集係
 FAX:03-3404-8436(青山文化村)
 メール:bunkamura@baisouin.or.jp

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。
 ウェブ編集室
 電話03-5368-1870

第八十七回 食は命なり 武鈴子

七ツアツツメ

暑い夏がくると恋しくするのが冷そうめん。消化がよく食べやすいので、夏バテで食欲がないときにピッタリの食べ物です。日本の夏は暑いだけでなく湿気を伴うので体内の熱気が十分発散されずこもりがち、そのうえ暑いと喉が渇いて冷たいものを飲み過ぎて、食欲がなくなってしまう。そんなときでも、そうめんならツルツルと喉に入っていくのは、本草書に「そうめんは、イライラ、口の渇き、不眠にもよく、利尿作用もある」という効果があるからでしょうか。

お盆や七夕には必ずそうめんを食べますが、七夕はもともと乞巧奠というお祭りで、着物の機織り技術の上達を願う意味がありました。そうめんはその白い糸をあらわしていたとも。

七夕にそうめんを食べる風習は室町後期からあり、江戸時代にも七夕は冷そうめんて祝いました。そしてそうめんを食べるときには、せり、みつば、ねぎ、きく、かいわれ、ほうれん草、椎茸、松茸、しめじ、やき栗、ぎんなん、くわい、長芋、岩たけ、ゆば、刻みゆば、この中から3種か5種取り合わせ、薬味に使っていて、このほかは好みにまかせ使うべし…と書かれています。(江戸料理事典)

私たちが薬味たっぷりのそうめんを食べて夏バテを防ぎましょう。

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

お盆ですね。私の家の田舎のお寺は旧盆で供養するので8月です。亡父母も8月に帰ってくると思います。梅窓院に地方から改葬で来られた仏様たちが7月に間違えずに帰ってこられるのか、お盆の季節になるといつも心配しております。一度、ご僧侶に伺ってみます。

コロナの影響もあり、墓参される方の来寺はお車の方が増えたように感じます。お子様、お孫様達が特に年配の方の送り迎えを頑張っておられます。ご家族でのお参りが増えたので、ご先祖様も喜んでいるのではないのでしょうか？とはいえ梅窓院は駅からすぐというのが魅力なので、落ち着いてきましたらまた公共交通機関でお越し下さい。先日、お参りされた方が墓参の後、いつものお店で久しぶりにランチをすると仰っておられました。こんな他愛もないやり取りがとても嬉しく思いました。

今までは会釈だけだった皆さん、お声がけ下さいね。代参、お墓洗い、草むしりのご依頼もお待ちしております。

(墓苑部:森)

行事予定

開山忌法要・能楽奉納

6月11日(土)

法要 午後3時～ 本堂

能楽 午後4時～ 本堂

(演目:半能「橋弁慶」予定

出演者:橋本忠樹 他)

第80回 念仏と法話の会

6月28日(火)

午後1時～(受付開始 午後0時30分)

観音堂

法話:命は「夢の罫」の如し、

「最上の魂」を輝かせよう!!

講師:長野 正念寺住職

奥寺 浩司 上人

※参加費無料・申込不要です。詳細は梅窓院ホームページをご覧ください。

盂蘭盆会法要

7月13日(水)

法要 午前10時30分～ 本堂

※詳細は3面をご覧ください。

梅窓院からお檀家様へ

現在一律5万円の護寺費につきまして、墓地面積に比例して案分し、実質的な負担に公平を期したいと検討しております。お檀家様におかれましては、この墓地面積に対して案分比例する方式につき、どのようにお考えでしょうか。

ご意見やお考えをお寄せ頂きたく存じます。尚、ご意見やお考えはFAX又はメール等でのお願いいたします。お電話では誤解が生じることがありますので、ご遠慮下さい。

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 梅窓院 檀信徒部

FAX:03-3404-8107 E-Mail:danka@baisouin.or.jp

お檀家さんに伺いました

令和4年 春彼岸法要にて

『家族みんなでお彼岸に』

お彼岸は長男・次男家族みんなが集まる良い機会なので、ペット慰霊法要と春彼岸法要の両方に毎年参列しています。

孫たちも可愛がってくれたワイヤーヘアードミニチュアダックスフンドの「悟空」と「悟天」の写真を持ってお焼香しました。お彼岸の物産展や落語も楽しみにしていたので、再開されましたらまた家族みんなですてたいです。

墓参される皆様へ

梅窓院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、安全衛生対策を強化し、各所に除菌水の設置や換気の対応をしております。ご来寺された際、手指消毒にご利用下さい。

また、マスクのご着用、咳エチケットなど可能な範囲にてご協力頂けると幸いです。

体調にご不安のある方はくれぐれもご無理をなさらないようお願い致します。

大変恐縮ですが、どうぞご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。

飲食店を経営されているお檀家様へ

年4回掲載の「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。檀信徒様で、掲載希望の方、取材・インタビューにご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、梅窓院受付もしくは下記の連絡先までご一報下さい。

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 梅窓院青山文化村

TEL:03-3404-8588 FAX:03-3404-8436

E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp

発行/梅窓院

発行日/令和4年6月1日

発行人/中島 真成

編集/青山文化村

住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

電話/03-3404-8447

FAX/03-3404-8107

ホームページ/https://www.baisouin.or.jp/

E-Mail/jodo@baisouin.or.jp

題字/中村康隆元浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡